

実践記録（実践学年・教科…小5・国語）

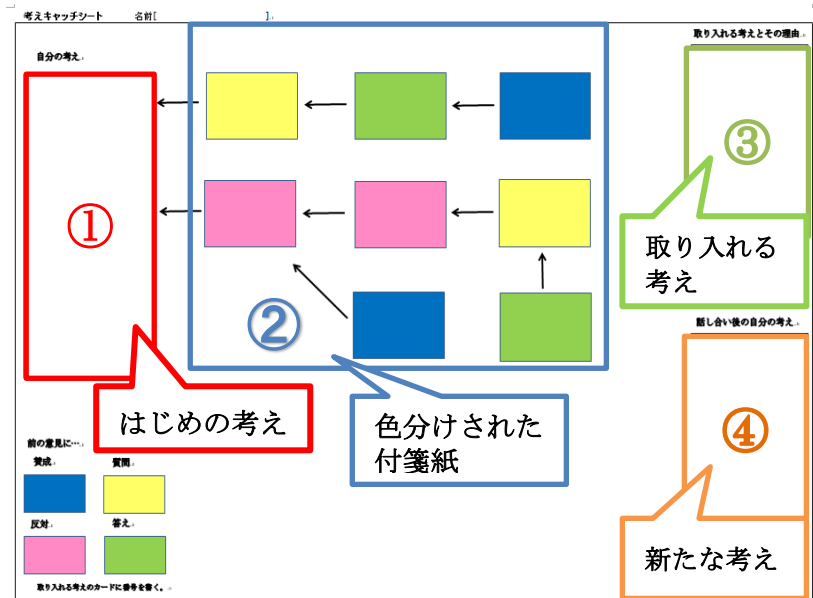
1 ねらい

意見交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることで、新たな考えをもつことができる。

2 手立て

「考えキャッチシート」(右図)を使い、付箋紙を活用して意見交流を図る。

- ① シートの左側に自分の考えを書く。
- ② グループでその考えに対して色分けされた付箋紙(賛成・反対・反論・答え)を貼っていく。
- ③ シートを振り返り、自分が取り入れたいと思う考えとその理由をシート右上の欄に書く。
- ④ 最後に、その考えを取り入れた新たな考えを右下の欄に書く。



3 実践の様子

「沖縄がよいか北海道がよいか」というテーマで、同じ立場の考えの4人～5人でグループを組み、意見交流を行った。1人一枚、「考えキャッチシート」を用意し、1分程度で付箋紙に意見を書いて貼り、次の人に回し、それを数回繰り返した。1人一枚「考えキャッチシート」が回って来るので回って来たものを読み、自分の意見を付箋紙に書いて貼るということを絶えず行うことができた。その後、出た意見の中から取り入れたい考えを選び、その理由とともに書かせた。最後に、初めの自分の考えと取り入れたい考えを合わせて新たな考えを書くことができた。



A児は、初めの考えで、「北海道は、おいしい食べ物がたくさんあり、観光施設や自然とふれあえる場所もあるので北海道がよい」と書いた。しかし、意見交流の中で「沖縄も同じことが言えるのではないか」という反論を受け、再考した結果、北海道の四季に着目し、北海道の春夏秋冬のよさを書くことができた。

また、B児は、実践後の感想で「自分が思い付かなかった意見や質問が出たので、知ることができてよかった。」と答えていた。

4 成果と課題

- 色分けされた付箋紙を貼り合い、意見を交流する手立てを用いたことによって、自分の考えに対する意見交流が可視化され、他の人との考え方の違いや新たな気づきを発見するきっかけになった。そして、自分の考えをより深めたり広めたりすることができた。
- 質問や反論の質に大きく影響されることがある。そのため、事前指導をきちんと行い、お互いが知識を十分備えた上で行うことが必要であると感じた。